

## 第1回京田辺市学校教育審議会 議事録（要旨）

会議名	第1回京田辺市学校教育審議会
日 時	令和3年6月29日（火）午後3時から午後4時30分まで
場 所	京田辺市立中央公民館 大ホール
内 容	1 開会 2 委嘱の委嘱について 3 教育長あいさつ 4 委員紹介等 5 会長・副会長の選出 （会長に沖田委員、副会長に河村委員を選出） 6 会議の公開等 7 諮問 8 議事 (1) 京田辺市における不登校の現状と取組状況 (2) 京田辺市適応指導教室「ポットラック」について 9 今後の進め方について
出席者	（委員） 沖田委員、河村委員、井脇委員、鈴木委員、尾谷委員、柳澤委員、 安井委員、岡田委員、奥西委員 （市教育委員会） 山岡教育長、（事務局）藤本教育部長、中井教育指導監、鈴木教 育部副部長、北尾教育総務室担当課長、片山こども・学校サポー ト室総括指導主事、村中こども・学校サポート室指導主事、鳴海 こども・学校サポート室指導主事、藤井学校教育課長、吉村教育 総務室企画係長
傍聴者	1人

### ●議事（要旨）

- (1) 京田辺市における不登校の現状と取組状況
- (2) 京田辺市適応指導教室「ポットラック」について

《事務局から資料に基づき説明》

【委員】ポットラックの定員はあるのか。また、開設時間は午前中となっている

が、時間の設定はどのように決められたのか。

【事務局】15名程度を定員の目安としているが、16名になったら受け入れないというものではない。また、不登校の子どもは生活リズムが整っていない場合が多く、午前中に開設することで生活リズムを築いてもらうという点と、別室登校・放課後登校も併せて実施している子どももいるので、ポットラックに通所した後に登校ができるという点を想定し午前中としている。このほか、あまり長時間だと疲れてしまうということも考慮している。

【委員】学校で利用が適切と判断した際に紹介となっているが、学校から紹介がなくても、利用できるのか。

【事務局】在籍校との連携を大切にしており、学校と保護者との話し合いの中でポットラックの利用が進んでいくこととなる。

【委員】毎日の利用が無理でも、気分がいいときに利用し、その後継続的に利用していくということにも対応しているのか。

【事務局】1回単位での利用は想定していない。ただ、入室となっても、毎日来られない子どももいる。入室したからといって毎日来ないといけないというものではない。

【会長】今後の議論を進めていくなかで、ポットラックの視察も重要ではと考える。その他、ご質問は。

【委員】学校現場で不登校と言えれば年間何日欠席した場合となるか、改めて共通認識を持っておいた方がいいのでは。

【事務局】年間では30日以上欠席を言う。また、各小中学校から月3日以上欠席した場合も報告をいただいている。学期では10日以上としている。

【会長】京田辺市の規定か。それとも文部科学省で示されているものか。

【事務局】文部科学省が示しているものである。

【委員】各学校で不登校の要因や背景はいろいろあると思うが、特徴的なものは

あるか。また、他の地域と比べて京田辺市において特徴的なものはどうか。

【事務局】他の市町と比べて差があるというのは難しいが、支援を要する子どもが増えてきているのではないかと考える。

【委員】いじめが原因で不登校となっている事例もあるのか。

【事務局】本市では、いじめが原因で不登校となっている事例はない。対人関係で不登校になっている事例が多いのかなと思う。

【委員】知人から聞く話だが、朝が起きられないということが多いそうである。ポットラックの開設時間が午前中ということで行けないという子どももいるのでは。

【事務局】現状では、当初の目的どおり学校へ復帰するということから午前中の開設で考えている。ただ、ポットラックの機能としては、今いただいたご意見について検討していきたいと考えている。

【委員】不登校問題に関し、各学校で非常に熱心に取り組まれていると思うが、不登校への支援が十分に行えるだけの先生が配置されているのか。

【事務局】十分というのは難しいところだが、きららサポーター等の教員ではない方にバックアップしていただいている。

【委員】学校現場では、スクールカウンセラーの方等も入っていただき、保護者の方との相談に関わっていただいている。また、先ほど事務局から人との関わりで不登校になっているのではという話があったが、現場ではとても感じている。ただ、現在、一人一台のタブレット端末が準備されている。タブレットの画面を通じてなら担任の先生と繋がれる、そういった関わりも今後検討する必要があるのではと感じている。

【会長】ポットラックの機能や小中の連携等、今後、順を追って議論していき、答申に向けて進めていきたい。それでは、今後の進め方について事務局から説明願いますか。

【事務局】本日、市の不登校の状況等について説明させていただいた。次回以降、

本格的な審議を進めていっていただきたいと考えている。次回については、8月下旬頃を予定している。また、本日諮問させていただいた案件については、おおむね2月頃に答申をいただければと考えている。

次回は、本市の状況を踏まえ不登校対策を行っていく上で必要となる機能や取組等についてご審議いただければと考えている。

(以上)